

国立大学法人島根大学役員会（第345回）＜議事要録＞

日時 令和元年12月3日（火） 14:00 ~ 16:00
場所 本部棟3階 特別会議室
出席者 服部学長，秋重理事，荒瀬理事，井川理事，吉田理事，宮脇理事
欠席者 藤田理事

〔陪席：平野副理事，千家監事，篠塚監事，企画部長，教育・学生支援部長，総務部長，医学部事務部長，地域連携・研究協力課長，教育企画課長，総務課長，財務課長，経理・調達課長，医学部総務課長，監査室長，上野所長（日立金属株式会社冶金研究所）〕

議題に先立ち，学長から島根大学役員会規則第6条の規定に基づき，役員会において意見を聴く関係者として，日立金属株式会社 冶金研究所 上野所長に出席いただいているとの説明があった。

議題1 地方大学・地域産業創生交付金事業に係る資金計画について

議題7. 平成30事業年度における教育研究高度化積立金（目的積立金）の取り崩しについて 報告事項9. 国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について

- 議題1に関連するため，議題7及び報告事項9についてもあわせて審議・報告された。
- 秋重理事から地方大学・地域産業創生交付金事業に係る資金計画について説明があった。
- 吉田理事から国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について報告があり，続いて平成30事業年度における教育研究高度化積立金（目的積立金）の取り崩しについて説明があった。
- 学長から次世代たたら協創センターの建物の建設コストの上昇理由について確認があり，吉田理事から主な要因は建設資材及び人件費の高騰によるものであるとの説明があった。続いて秋重理事から建物の設計変更も要因の一部であるとの説明があった。
- 学長から予算が逼迫する中，交付金終了時には自走する必要もあるため，外部資金獲得への取組が必要ではないかとの意見があった。
- 上野所長から以下の意見があった。
 - ・ プロジェクトとして次世代たたら協創センターに必要な機能を把握し，島根大学が作りたい島根大学独自の建物のコンセプトをイメージして，限られた予算のなかで取りまとめを行うキーパーソンが必要ではないか。
 - ・ 外部資金の調達においてもコンセプトがないと獲得できないため，上記のキーパーソンが外部資金獲得の仕掛けづくりを行う必要があるのではないか。
 - ・ 資料について，金額だけでなく，どう構想がかわって，どの費用が増加したのか視覚的に訴える資料が審議において必要ではないか。
- 平野副理事から予算が増大している根拠を示す資料が不足しているため，審議できないのではないかとの意見があった。
- 篠塚監事から審議に必要な資料が不足しているため，審議できないのではないかとの意見があった。
- 宮脇理事から設計業者の積算根拠の妥当性を大学として検証し，一連の書類としてオーソライズする必要があるのではないかとの意見があった。
- 千家監事から議題7の議案概要説明書について，目的積立金の使途として「大学負担額の増加分」との文言は，報告事項9の文部科学省からの「平成30事業年度における剰余金の使途の承認申請書」に記載のある「本学の機能強化に資するため，教育，研究及び診療に係る施設設備等の新規整備，更新並びに改修に充てる」との条件と整合性をとるよう記載の修正が必要ではないかとの意見があった。

- 議題1については、12月11日（水）の9時から臨時役員会を開催し、再度審議することとした。議題7については、千家監事からの意見を受け、修正することとしたうえで、議決された。

議題2 内部留保金の使用目的変更について

- 吉田理事から内部留保金の使用目的変更について説明があり、原案どおり議決された。

議題3 島根大学知的財産審査委員会規則の制定及び国立大学法人島根大学職務発明規程の一部改正について

- 秋重理事から島根大学知的財産審査委員会規則の制定及び国立大学法人島根大学職務発明規程の一部改正について説明があった。
- 宮脇理事から島根県内には国際特許の専門家がいるため、助言を依頼してはどうかとの意見があった。
- 千家監事から教員への周知のため、教育研究評議会にも報告が必要ではないかとの意見があった。
- 千家監事から島根大学知的財産審査委員会規則（案）第3条第5号の大学が承継した発明等の実施許諾及び譲渡については、固定資産に関する規則との整合性を確認する必要があるのではないかとの意見があった。吉田理事から整合性を確認し、必要があれば固定資産に関する規則を改正するとの回答があり、原案どおり議決された。

議題4 国立大学法人島根大学アドバイザー規則の制定について

- 学長から国立大学法人島根大学アドバイザー規則の制定について説明があり、原案どおり議決された。

報告事項1 令和元年9月末現在の財務状況等について

- 令和元年9月末現在の財務状況等については、議題5に関連するため、議題5に先立ち吉田理事から報告があった。

議題5 令和元年度補正予算（第1号）（案）について

- 吉田理事から令和元年度補正予算（第1号）（案）について説明があり、原案どおり議決された。

議題6 令和元年度業務達成基準適用事業について

- 吉田理事から令和元年度業務達成基準適用事業について説明があり、原案どおり議決された。

協議事項1 定期モニタリングの実施について

- 本件は担当理事欠席のため取り下げとし、今回のテーマである「勤務時間の管理体制」については、1月開催の役員会において協議することとした。

報告事項2 平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について

- 荒瀬理事から平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。
- 宮脇理事から附属義務教育学校で実施している「未来創造科」については良い取組であるため、理解力やコミュニケーション力を育む教育を推進してほしいとの意見があった。

報告事項3 平成30年度予算・決算について

- 吉田理事から第344回役員会（令和元年11月5日開催）で再度検討することとしていた平成30年度予算・決算について報告があった。
- 千家監事から来年度以降については、民間企業のセグメント会計を参考に「調整額」を設ける方式を検討してはどうかとの意見があった。

報告事項4 令和2年度医学部入学定員増員計画について

- 学長から令和2年度医学部入学定員増員計画について、大学設置・学校法人審議会での審議の結果、当該設置計画が認められたとの報告があった。

報告事項5 令和元年度における国立大学法人島根大学の中小企業者に関する契約の方針について

- 吉田理事から令和元年度における国立大学法人島根大学の中小企業者に関する契約の方針について報告があった。

報告事項6 島根大学における節電の取組実行計画（令和元年度冬季）について

- 吉田理事から島根大学における節電の取組実行計画（令和元年度冬季）について報告があった。

報告事項7 附属病院運営状況について

- 井川理事から令和元年10月分の附属病院診療費用請求額等、11月に開催された病院経営企画戦略会議及び附属病院運営委員会の議事、附属病院の勤務状況等について報告があった。

報告事項8 第175回教育研究評議会の議題等について

- 学長から第175回教育研究評議会の議題等について報告があった。
- 報告事項として「島根大学知的財産審査委員会規則の制定及び国立大学法人島根大学職務発明規程の一部改正について」及び「国立大学法人島根大学アドバイザー規則の制定について」を追加することとした。
- 協議事項として「島根大学学位規則の一部改正について」を追加することとした。